

MINATOビジョン・タウンフォーラム
子ども・子育てグループ（第1グループ）

会議録（第3回）

■開催日時・場所・出席者

日時：令和7年10月21日(金)18時30分～20時30分

会場：みなとパーク芝浦（リーブラ 学習室E）

メンバー：11名(欠席者4名)

【内訳】対面参加：8名、オンライン参加3名

事務局：企画課グループ担当1名、サポートメンバー1名、子ども関連所管課長5名、
委託事業者2名

■次第

（開会）

1 事務局より連絡

・配布資料の確認等

2 区の将来像のたたき台に関する議論

・区全体の将来像

・分野別の将来像

3 事務局より連絡

・MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について

（閉会）

■配付資料

資料1 第3回グループ会議進行資料

資料2-1 区全体将来像案

資料2-2 分野別将来像案

資料3 MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会について

■貸与資料

なし

■会議要旨

（開会）

リーダーより、第3回グループ会議開催にあたっての挨拶及び開会宣言が行われた。

1 事務局より連絡

配布資料の確認が行われた。

2 区の将来像のたたき台に関する議論

ファシリテーターの案内で、区全体の将来像案及び分野別の将来像案についてグループワークで議論が進められた。議論する順番は、分野別の将来像案を先に議論し、区全体の将来像案を後に議論することとなった。

(1) 分野別の将来像案

(主な意見等)

参加者：「子どもたちとともに」の部分について、子どもたちとともに何をしたいのか伝わらないため、何をしたいのかを明示するか、明示出来ないのであれば削除すべきではないか。

参加者：「子どもたちとともに描こう」としてはどうか。

参加者：大人だけでなく子どもも、という意図がありよいと考える。

参加者：全体的に抽象的であり、港区でなくても文章として成立してしまう。そのため、読んだだけで港区と分かるような将来像にしたいと考える。

参加者：「描こう」という表現であれば、世代を問わずみんなで未来に向かって変わっていきけるまちと考えられる。抽象的だけれども夢があってよいのではないか。

参加者：港区は大使館が多いことを活かした意見や、情報リテラシーを高めるべきではといった意見があった。そういった港区らしい意見として、外国人の交流や多様性、共生は入れられないか。

参加者：ポテンシャルがある区であるからこそ、10年後、20年後の人々に勇気を与えられるようなテーマを盛り込みたい。例えば、不確実な時代だからこそ「変わっていきける」「自由に生きられる」という要素を入れるなどは出来ないか。

参加者：「変わらないもの」も港区の大事なものであると考える。「変わるもの・変わらないもの」といった言葉を入れてもよいのではないか。

参加者：「年齢を重ねても」という部分は、学年を追うごとにとという意味だと思うが、伝わりにくいので変えるべきであると考えます。

参加者：「子どもの成長に合わせて」という表現がよいのではないか。

参加者：「ベビーカー」「子ども乗せ自転車」が急に具体的な表現として出てきている。特に、子ども乗せ自転車は2040年にはないのではないかと思うので、削除すべきである。

参加者：「子育てしやすいまち」と「子育てとやりたいことを両立できるまち」は保護者が主役という意味で共通している。それらを一つにまとめ、もう一つ大きなテーマを設けてもいいのではないか。子ども・保護者以外の目線を設定できれば、他の区民にも当事者意識をもってもらえるのではないか。

参加者：3つ目のサブタイトルのテーマは「地域との連携」にしてはどうか。

参加者：「子どもを地域で育むまち」はどうか。

参加者：港区は社長が多いなど、ハードルが高い印象があるため、ハードルを下げる印象を与えられたらよいのではないかと思う。

参加者：行政の支援もありつつ、地域のつながりで育てられていることが分かるようにしたい。

参加者：「子育てしやすいまち」の「保護者だけが悩みや苦勞を抱えるのではなく」という部分も地域分野に含まれるのではないか

参加者：「子どもを持ちたくなるまち」はどうか。

参加者：子どもを持たないという自由もあり、子どもを持つことが理想とするのは言い過ぎないように思うため、「望む人が理想とする」という表現が妥当と考える。

参加者：最後の「子どもや保護者に優しく」の部分は「保護者」に限定せず、「大人」の方という表現がよいのではないか。

(2)全体の将来像案

(主な意見等)

参加者：「トップレベルの企業や大学」とあるが、中小企業やトップレベルではない大学も多い。トップレベルという表現はそれらを切り捨てたような印象があり、修正すべきではないか。

参加者：「うるおい」は漢字にした方が、視覚的にわかりやすいと考える。「うるおいとやすらぎ」とひらがなが続いていることが気になる。

参加者：まちが主語の文章で「寛容な心」と表現していることに違和感がある。「柔軟性」といった表現がよいのではないか。

参加者：全体を通して、子ども・教育の要素がないことが気になる。子どもの要素を入れてほしい。

参加者：「日本のトップランナー」という表現があるが、言い過ぎのように感じる。

参加者：「多様な考え方や生き方が当たり前のように共存する」という部分の「共存する」を「尊重する」にしてはどうか。

参加者：「未来を創る」という表現は、未来志向でよい。また、「新しい風が吹く」は、チャレンジしていく姿勢が示されていてよい。

参加者：「2040年代に向けて大切にしていこう」という部分では、「多様な価値観を認め合う」とまとめているのに、将来像では「多様な考え方や生き方が当たり前のように共存する」となっている。「当たり前のように共存」というニュアンスに違和感がある。

参加者：「互いを尊重し認め合いながら」とあるが、歴史と最先端は尊重し認め合うものではないため表現として違和感がある。「互いを尊重し認め合いながら」は抜いてもいいのではないか。

参加者：「企業や大学、NPO、町会・自治会、商店会など」の羅列の中に、学校や教育機関などの要素を入れられないか。全体を通して、若い世代の要素を入れてほしい。

参加者：「港区に関わる全ての人が幸せを感じられるまち」の部分、に「子どもから大人まで」といった子育ての要素を加えてはどうか。

3 事務局より連絡

事務局より、MINATOビジョン・タウンフォーラム報告会についての案内がされた。また、将来像案は事務局が修正し、疑義がある際はリーダーに一任するという事となった。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。